

# 市職員の給与などを公表します

問い合わせ

総務課人事係 ☎ 22-7719

## 1 人件費の状況（普通会計決算）

区分	住民基本台帳 (年度末)	歳出額 A	実質収支	人件費 B	人件費率 B/A	22年度 人件費率
23年度	24年3月31日 28,667人	千円 11,813,038	千円 289,119	千円 2,387,606	% 20.2	% 16.1

(注) 人件費には、市長・議員などの給料・報酬等を含んでいます。

## 2 職員給与費の状況（普通会計予算）

区分	職員数 A	給与費				1人当たり 給与費 (B/A)
		給料	職員手当	期末・勤勉手当	計 B	
24年度	人 235	千円 934,480	千円 114,266	千円 335,581	千円 1,384,327	千円 5,891

(注) 1 職員手当には退職手当を含んでいません。

2 給与費は平成24年度当初予算に計上された額です。

※部長級、課長級の職員の給料については、平成24年4月から平成25年3月までの給料月額を減額しています。(減額率：5%)

## 3 職員の初任給の状況（平成24年4月1日現在）

区分	初任給	採用2年経過後	
一般行政職	大学卒	178,800円	191,200円
	高校卒	149,800円	160,200円

## 4 平均給料月額・平均年齢の状況（平成23年4月1日現在）

区分	竹原市	国	
一般行政職	平均給料月額	327,400円	327,205円
	平均年齢	40.8歳	42.3歳

## 5 経験年数別・学歴別平均給料月額の状況（平成24年4月1日現在）

区分	経験年数10年～15年	経験年数20年～25年	
一般行政職	大学卒	288,000円	382,400円
	高校卒	251,600円	351,900円

## 6 一般行政職の級別職員数の状況（平成24年4月1日現在）

区分	7級	6級	5級	4級	3級	2級	1級	計
標準職務	部・課長	課長補佐	係長	主任主事	主事	主事	主事	
職員数	26人	13人	48人	37人	34人	12人	4人	174人
構成比	14.9%	7.5%	27.6%	21.3%	19.5%	6.9%	2.3%	100%

(注) 区分の欄は、代表的な標準職務を掲載しています。

## 7 職員手当の状況

### (1) 期末・勤勉手当の支給割合 (2) 退職手当

(平成24年4月1日現在)

(平成24年4月1日現在)

区分	支給率	
	自己都合	勸奨・定年
期末手当	2.60月分	2.60月分
勤勉手当	1.35月分	1.35月分
計	3.95月分	3.95月分

その他の加算措置

定年前早期退職特例措置 (2～20%加算)

竹原市職員の給与等の実態を市民のみなさんに身近に知っていただくため、その概要をお知らせします。

市職員の給与は、基本給としての給料と扶養手当、住居手当、通勤手当などの諸手当からなっており、国や他の自治体の状況を考慮したうえで、「職員の給与に関する条例」等を定めています。

## 8 特別職の報酬等の状況（平成24年4月1日現在）

区分	給料月額(円)	期末手当
市長	※減額後 733,500円	6月期 1.90月分
副市長	※減額後 618,450円	
議長	440,000円	12月期 2.05月分
副議長	395,000円	計 3.95月分
議員	355,000円	

※市長、副市長の給料については、平成15年4月から給料月額を減額しています。(減額率:市長10%,副市長7%)

## 9 定員（一般職）の状況

### 部門別職員数の状況（各年4月1日現在）

区分	部門	職員数		対前年増減数	
		平成23年	平成24年	平成23年	平成24年
一般管理	議会	3	3		
	総務	47	48		1
	税務	15	16		1
	労働	1	1		
	農水	11	10	2	-1
	商工	6	5	1	-1
	土木	27	27		
	小計	110	110	3	0
福祉	民生	68	74	3	6
	衛生	15	16	1	1
	小計	83	90	4	7
一般行政部門計		193	200	7	7
特別行政	教育	41	33	-5	-8
	小計	41	33	-5	-8
公営企業等	水道	11	10	1	-1
	下水道	8	7		-1
	その他	15	16	1	1
	小計	34	33	2	-1
	総合計		268	266	4

◆ ラスパイレス指数 103.0

(平成23年4月1日現在)

※ラスパイレス指数とは、地方公務員のうち、一般行政職の職員の学歴別、経験年数別構成等を国家公務員の行政職の職員と同一に仮定して各自自治体ごとの平均給与額を求めて、国の平均給与額を100として算出したものです。

# 地図に再現された

## 60年前の神田（新庄町）の町並み

問い合わせ

文化生涯学習室 ☎22-7757

### 歩いて発見、町の記憶

市では、歴史文化を次世代に継承するために、人・ネットワーキングづくりを行っています。

荘野公民館では、新本直登市史編さん嘱託員を中心に「ふるさと再発見講座」を開催しています。昔をよく知る地域のみなさんと共に神田地区の町並みを歩き、かつて荘野の中心地だった神田の町並みの、約60年前の姿を地図上に再現しました。

この活動は、自分たちの住む地域がどのように作られたのか、昔にぎわっていたのはなぜかなど、地域の歴史文化に触れ、楽しみながら取組みを継承していく人づくりを目的としています。

### 甦る町のにぎわい 町が丸ごと「コンビニ」

古い水路の石垣や色あせた店舗の看板など、町のあちこちに残る昔の記憶を拾い集め、かつての町の姿を地図に描いていきます。

このように再現された神田の町並みには、鍛冶屋や呉服屋、食料品店から薬局まで、多くの店舗が立ち並び、「この場所に来れば何でも揃う」コンビニの



▲再現された60年前の神田の地図



▲地域ガイドによる説明を聞く講座参加者

ような町であったといえます。また、荘野は沿岸部と山間部を結ぶ交通の要衝でもあり、他の地区からも多くの人が訪れ、とてもにぎやかだったと伝えられています。

地図上に昔の町並みを再現することを通じて、当時の人々の生活に思いを馳せ、自分の住む町への愛着や、地域の絆の大切さを改めて感じる良い機会となりました。

## 先人達は 私たちに 何を託したか

◎まちの誇りを確信！

問い合わせ  
文化生涯学習室  
☎22-7757

### 読者を、まちを 動かした新聞記者

町並み保存地区が伝統的建造物群保存地区に選定された時の立役者の一人に、かつて竹原の情報を発信し続けた芸南新聞の記者（故）脇林睦さんがいます。

脇林さんは、国の選定前から「町並みシリーズ」を連載するなど、建物の特徴、守る会の設置の必要性、伝建制度は市民主体の取組みであることなどを提言していました。

脇林さんの豊富な情報と提言は、住民の人々の心を大きく動かし、「町並み保存地区は竹原の誇りだから、後世に伝えていかなければならない」という保存への自覚を促すとともに、保存に向けた取組みへの機運を醸成しました。

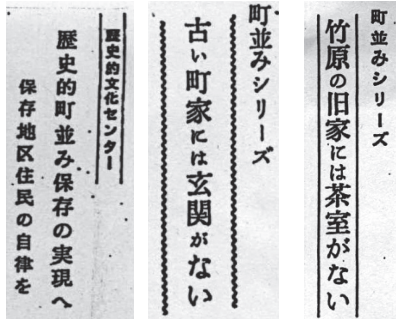
選定後は、「町並み辞典シリーズ（民家再生など）や竹原の民家シリーズ（家の特徴を紹介）」

を掲載し、建物の価値の啓発や保存・活用を提言しています。

### 国の選定 未来への継承

脇林さんと同様に、竹原町並み保存会、竹原青年会議所など多くの人々の取組みにより、昭和57年、全国で19番目の重要伝統建造物群保存地区として選定されました。この選定を機に、町並み保存地区は、全国的により一層脚光を浴びるようになっていくとともに、次世代につなげていく機運が高まりました。

町並み保存地区に住んでいた脇林さんは、晩年、よく胡堂に腰掛け、本町通りを眺めておられました。脇林さんには、町並みのこれまでの歩みと姿はどう映っていたのでしょうか。



▲選定前後の芸南新聞記事  
みだし